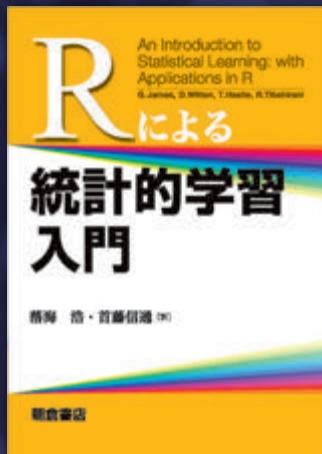


◎[R]を使って練習問題を解きながら  
ビッグデータの活用に必須知識を学ぶ。



# Rによる 統計的学習 入門

(原著) G. James, D. Witten, T. Hastie, R. Tibshirani

(訳) 落海浩 (南カリフォルニア大学ビジネススクール)

首藤信通 (神戸大学大学院海事科学研究科)

A5判 416頁 オールカラー

定価 (本体 6,800円+税) (12224-4) C3041

- ・南カリフォルニア大学ビジネススクールの人気講義のテキスト“An Introduction to Statistical Learning: with Applications in R”的全訳。
- ・道具として使えるようにRで実践的に統計解析・機械学習を学ぶ。
- ・統計・情報・計算機科学・データサイエンス・経済・経営・金融(FinTech)などを専攻する学部学生、ビジネススクールの学生、若手研究者、実務者。ビッグデータの解析を期待される担当者。

[目次]

1. 導入
2. 統計的学習
3. 線形回帰
4. 分類
5. リサンプリング法
6. 線形モデル選択と正則化
7. 線形を超えて
8. 木に基づく方法
9. サポートベクターマシン
10. 教師なし学習

きりとり線

【お申し込み書】この申し込み書にご記入のうえ、最寄りの書店にて注文下さい。

## Rによる統計的学習入門

A5判 416頁 定価 (本体 6,800円+税)  
ISBN978-4-254-12224-4 C3041

冊

取扱書店

●お名前  □公費／□私費

●ご住所 (〒  ) TEL

 朝倉書店

〒162-8707 東京都新宿区新小川町6-29 / 振替 00160-9-8673  
電話 03-3260-7631 / FAX 03-3260-0180  
<http://www.asakura.co.jp> / [eigyo@asakura.co.jp](mailto:eigyo@asakura.co.jp)

## Rによる 統計的学習入門

### 本文組見本

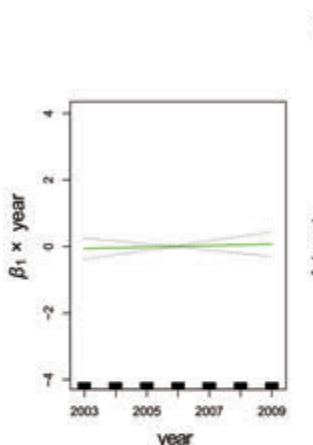
オールカラーで  
見やすい本文

## Statistical Learning

	Estimate	Std. Error	t value	Pr(> t )	
(Intercept)	111.704	0.729	153.28	<2e-16	
poly(age, 4)1	447.068	39.915	11.20	<2e-16	
poly(age, 4)2	-478.316	39.915	-11.98	<2e-16	

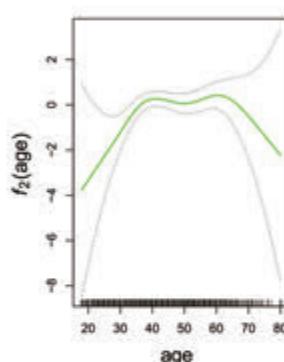
### 2.1 統計的学習とは

統計的学習について学ぶにあたり、まずは簡単な例から始める。例えば私たちは統計コンサルタントで、ある商品のセールス<sup>注1</sup>を増やすための提案を行うためにクラウド企業に雇われたとする。**Advertising** データセットの中に、200 の市場におけるセールスデータと、それぞれの市場での **TV**, **radio**, そして **newspaper** に使っ

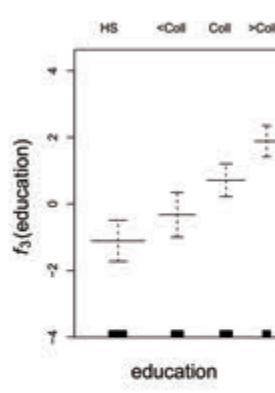


7.8 実習：非線形モデルング

271



$f_2(\text{age})$



$f_3(\text{education})$

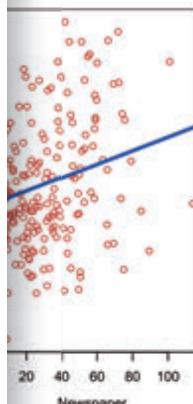


図 7.14 図 7.13と同じモデルであるが、今回は **education** が <HS となる観測値を除いている。最終学歴のレベルが高いと、より高収入となる様子がわかる。

は図 7.13 の通りである。最後の図では、<HS のレベルの信頼区間幅が非常に広くなっている。疑わしい結果となっている。実際、このカテゴリーには誰も属していない。つまり、最終学歴が高卒未満の人で年収\$250,000 以上となっている人はいない。したがって、高卒未満の人達を除いて、再度 GAM を当てはめる。その結果は、図 7.14 に示されている。図 7.11, 7.12 と同様、3 つの図はいずれも縦軸のスケールが類似しており、**age** と **education** は **year** よりも大きい影響をもつことがわかる。

### 7.8 実習：非線形モデルング

この実習では、多くの複雑な非線形モデルの当てはめが R で簡単に実行可能であることを例示するために、本章の例として扱った **Wage** データを再度解析する。はじめに、このデータをもつ **ISLR** ライブラリを読み込む。

```
> library(ISLR)
> attach(Wage)
```

#### 7.8.1 多項式回帰と階段関数

図 7.1 がどのようにして得られるかを体験する。初めに、以下のコマンドによってモデルを当てはめる。

```
> fit=lm(wage~poly(age,4),data=Wage)
> coef(summary(fit))
            Estimate Std. Error t value Pr(>|t|)
(Intercept) 111.704    0.729 153.28 <2e-16
poly(age, 4)1 447.068   39.915 11.20 <2e-16
poly(age, 4)2 -478.316   39.915 -11.98 <2e-16
```